

J-GATE3.0の稼働に伴う取引制度の見直し等について

2020年7月28日

株式会社東京商品取引所

I. 趣旨

当社は、株式会社日本取引所グループの中期経営計画の重点戦略の一つとして掲げている「次世代に向けた「市場のカタチ」の追求」を実現するため、環境変化・ニーズに即したマーケットプラットフォームの構築を目指す取組みとして、2021年度第3四半期の稼働を目途に次期デリバティブ売買システム（J-GATE3.0）の開発作業を進めています。

J-GATE3.0では、システムの信頼性等の更なる向上を図るとともに、「Launch Timely」というコンセプトのもと、機動的な商品・機能追加を実現し、また、ロングテール商品の成長を促すことで、デリバティブ市場の発展を目指します。

こうした一連の取組みの一環として、投資家や取引参加者をはじめとした市場利用者にとっての信頼性・利便性の向上を図る観点から、J-GATE3.0の稼働時から以下のとおり取引制度の見直し等を行うこととします。

なお、祝日取引制度について、株式会社大阪取引所においてJ-GATE3.0の稼働後できるだけ早期（稼働後1～2年を目途）の実施に向けた検討が行われておりますが、これを受けて当社においても方針等を検討してまいります。

II. 概要

項目	内容	備考
1. 取引時間関係 夜間立会の拡大	<ul style="list-style-type: none">夜間立会のザラバ取引の終了時刻を午前5時55分に変更し、夜間立会の引板合わせを午前6時に行うこととします。（日中立会の取引時間は変更ございません。）	<ul style="list-style-type: none">現行の夜間立会の引板合わせは午前5時30分。エネルギー市場の電力については、現行どおり夜間立会のザラバ取引の終了時刻は午後6時55分とし、夜間立会の引板合わせを午後7時に行うこととします。
2. 取引規制関係 (1) 即時約定可能値	<ul style="list-style-type: none">寄付板合わせ等に即時約定可能値幅を適用することとします。	<ul style="list-style-type: none">現行では、寄付板合わせは即

項目	内容	備考
<p>幅の寄付板合わせ等への適用</p> <p>(2) 引板合わせに適用する即時約定可能値幅の変更</p> <p>(3) サーキット・ブレーカー制度の発動基準の見直し</p> <p>3. 商品制度関係</p> <p>(1) 原油の限月取引の数の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引板合わせに適用する即時約定可能値幅を変更することとします。 ・ 取引の一時中断（以下「サーキット・ブレーカー」といいます。）について、各商品の中心限月（※）取引において、呼値の制限値幅の上限の値段又は下限の値段で取引等が行われた場合、直ちにサーキット・ブレーカーを発動し、一定時間経過後、制限値幅を拡大し、取引を継続することとします。 ※中心限月とは、限月のうち流動性が最も集中しているものとして当社が指定する限月を指します。 ・ 原油の取引の期限は、新甫発会日の属する月から起算した15月以内の各月とし、15限月制とします。 	<p>時約定可能値幅制度の対象外。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付板合わせに適用する即時約定可能値幅は、円滑な取引開始のため、ザラバ取引より大きく設定します（別紙参照）。 ・ 変更後の即時約定可能値幅については、別紙をご参照ください。 ・ 現行では、原則、取引時間中にサーキット・ブレーカーを発動させない運用を行っています。 ・ J-GATE3.0におけるサーキット・ブレーカーの発動時の中断時間と拡大後の制限値幅については、別途の検討を行い、方針が決まり次第、通知いたします。 ・ 現行は、新甫発会日の属する月から起算した6月以内の各月の6限月制。

項目	内容	備考
(2) 既存商品の上場廃止	<ul style="list-style-type: none"> 過去の取引実績等を踏まえ、J-GATE3.0稼働時にエネルギー市場のガソリン、灯油及び軽油の現金決済先物取引（石油スワップ）の6商品を上場廃止することとします。 	
(3) 電力先物取引の立会外取引の申出価格の値幅拡大	<ul style="list-style-type: none"> 電力先物取引の立会外取引利用者の利便性向上を図るため、立会外取引の申出を行うことが可能な値幅（価格帯）を拡大することとします。 ※ 電力先物取引の立会外取引の申出価格の値幅「$X \pm (Y \times N\%)$」についてパラメーターNを現行の「32」から「90」に拡大 (X：①直近約定値段、①がなければ前営業日の帳入値段、Y：前営業日の帳入値段) 	<ul style="list-style-type: none"> 電力先物価格の季節性や電力先物取引の立会外取引における期間平均取引の選好を踏まえ、一本価格での期間平均取引を可能とするためのパラメーターの変更。
4. その他		
(1) 対当値段条件付注文 (MTLO) の廃止	<ul style="list-style-type: none"> 対当値段条件付注文（値段を指定しない売買注文で、発注した数量のうち未約定となった注文は約定した値段の指値注文として登録される売買注文）に係る機能を廃止することとします。 	
(2) 約定率に応じた注文制限 (OTR) の導入	<ul style="list-style-type: none"> 取引参加者の効率的な注文を促し J-GATE3.0 のキャパシティ保全を図るため、取引参加者に対し当社が定めた約定率に応じた注文制限 (OTR : Order Trade Ratio) を導入することとします。 	<ul style="list-style-type: none"> OTR の具体的な内容及び運用については、今後、取引参加者に通知します。
(3) その他	<ul style="list-style-type: none"> その他、所要の改正を実施することとします。 	

Ⅲ. 実施時期 (予定)

J-GATE3.0 の稼働日 (2021 年度第 3 四半期予定) から実施します。

以 上